

トキの生息状況について

■ 2014 年のトキの繁殖結果

(1) 野生下のトキの繁殖結果について (H26.6.24 終了)

- ・ 今年の野生下におけるトキの繁殖は、14 ペアから 36 羽のヒナが誕生し、このうち 11 ペアから 31 羽が巣立ち(H26.8.19 時点の生存確認数は 28 羽)。
- ・ 巣立ち数としては過去 2 年間を合わせた 12 羽を大幅に超え、繁殖成績は大きく向上。
- ・ また、2012 年に野生下で生まれたヒナが親トキとなり、放鳥トキではない野外生まれのトキを親とするヒナ 5 羽の巣立ちも確認。放鳥トキからかぞえ孫世代トキの誕生であり野外のトキの世代が進行している。
- ・ きょうだいペアからの繁殖・巣立ちもあり、今後の近親交配が懸念。また、繁殖数の増加に伴い営巣のコロニー化が進み、バンディングが困難なケースもあり、今後のモニタリング手法の検討も課題。

【2012 年～2014 年 (6/24 終了) の野生下の繁殖結果一覧】

	営巣	ふ化		巣立ち	
	繁殖に参加したペア数	ヒナを産んだペア数	ふ化したヒナの羽数	巣立ちさせたペア数	巣立ちした羽数
2012 年	18	3	8	3	8*
2013 年	24	5	14	2	4*
2014 年	35	14	36	11	31*

※巣立ち数の合計は 43 羽だが、現時点の生存確認数は 39 羽

【今年生まれた”孫世代”ヒナの写真 (左から 5 月、6 月)】



(2) 飼育下のトキの繁殖結果について (H26.8.19 公表)

- ・ トキの飼育は、佐渡島(トキ保護センター、野生復帰ステーション、佐渡市トキふれあいプラザ)をはじめ、多摩動物公園、いしかわ動物園、出雲市分散飼育センター、長岡市分散飼育センターで実施

- ・ 今年 3 月 12 日の初産卵に始まり、計 165 個の産卵(うち有精卵 85 個)があった。ヒナのふ化は 61 羽で、最終的に 54 羽が巣立ちした。この結果、飼育下のトキは成鳥 167 羽、ヒナ(幼鳥)54 羽を合わせ 221 羽となる

■ 野生下トキの生息状況

(1) 野生下のトキの生息数について (H26.8.19 時点)

- ・ トキの野生復帰として、2008 年からこれまでの延べ 10 回(159 羽)のトキを放鳥
- ・ 現在、放鳥トキ、野生下繁殖のトキを含め、自然界に 132 羽のトキが生存 (放鳥トキ 93 羽、野生下繁殖トキ 39 羽)
- ・ 132 羽の現在の生息地は、富山県(石川県)1 羽*、新潟県村上市 1 羽*のほか、残り 130 羽は佐渡島内に生息
 - ※ 富山県の個体は、2008 年第 1 回放鳥の個体(メス)で放鳥当初より継続して生息
 - ※ 村上市の個体は、2014 年第 10 回放鳥の個体(メス)で H26.7.12 確認
- ・ 今後、佐渡島での放鳥の継続、野外での繁殖による個体の増加に伴い、佐渡島から本州へ飛来・生息するトキが増えるものと予想される

【国内のトキの個体数 (H26.8.19 時点)】

H26.8.19 時点(暫定)

飼育下				野生下				備考	
場所	個体数			場所等	個体数				
	成鳥 8/1	幼鳥 7/11	合計		成鳥 8/19	幼鳥 7/2	合計		
佐渡/佐渡トキ保護センター	86	9	95	佐渡島	放鳥	91	91		
佐渡/野生復帰ステーション	38	13	51		繁殖	11	28	39	
佐渡/佐渡市トキふれあいプラザ	2	3	5	(小計)			102	28	130
多摩動物公園	9	7	16	本州	放鳥 (富山県)	2	2	(石川県、村上市)	
いしかわ動物園	10	10	20		繁殖 (新潟県)		0		
出雲市トキ分散飼育センター	12	5	17	(小計)			2	0	2
長岡市トキ分散飼育センター	10	7	17						
合計	167	54	221	合計			104	28	132
総計 353									

※ 個体数の成鳥には若鳥含む、幼鳥数は当該年生まれ(巣立ち)の個体 [12月末時点で成鳥(若鳥)扱いに変更]

※ 野生下への放鳥延べ数は159羽

(2) トキの定着数について (ビジョン目標の達成)

- ・ 2014.6.10 時点、生存確認 133 羽のうち 1 年以上継続して生存しているときの羽数が目標の定着羽数 60 羽*を超え 75 羽となった (定着には、放鳥して 1 年未満の個体、今年生まれた幼鳥個体は含まない)
 - ※ 佐渡島の 60 羽定着目標=「佐渡地域環境再生ビジョン」(2003 年策定)
- ・ 今後、新たな目標とロードマップの策定に向け検討を進める予定